



秦西小だより

人権週間に 学級のめあてが、でそろいました！

人権とは、「人が幸せに生きるための権利」を言います。人権学習は「人を大事にする学習」です。

今から71年前の1948年12月10日に世界中の人が集まって、国連総会という会議で世界中が仲良くしようということを決めました。その日を世界人権デーといいます。人間は、わかっているもついつい忘れてしまうことがあります。あたりまえのことだと、できていなくても気にならないこともあります。そこで、毎年12月10日には世界中で「なかよし」の確認をします。秦荘西小でも人権集会をしてなかよくなることの確認をしています。



12月10日に秦荘西小学校では、人権集会を行いました！！ 学級のめあて

なかよし2組 ひとのいやがることをしない。

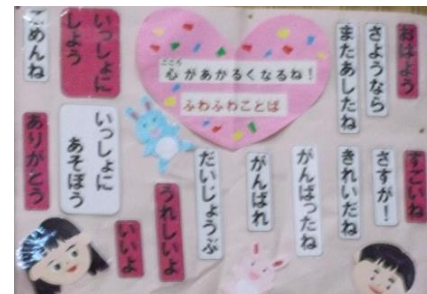
- 1年1組 ともだちが「うれしい」ことをいったりしたりする（まずは1日1つ）
- 1年2組 こまっている人がいたらたすける。べんきょう、ともだち、びょうき、けが…
- 2年1組 いじめなし やさしい言ばを広げて ぼかぼかあたたかいクラスにしよう
- 2年2組 みんなでよいことをして、キラリさんをふやそう！
- 3年1組 悪口、ぼう力、いやな言い方をしない こまっている人に声をかける
- 3年2組 失敗してもだいじょうぶ！ みんなでつくろう明るいえ顔！！
- 4年1組 25人で、友だちをきずつけず 思いやりの花をさかせよう。
- 4年2組 毎日みんなにあたたかい言葉をかけよう
- 5年1組 自分がされていやなことを人にしない！
- 5年2組 考えよう！自分がやっていること、やられた時のこと。 人にやさしく
- 6年1組 秦西6年「言葉づかいの7カ条」

ひとつの言葉で人を傷つける。人の言葉で人を元気づける。

- 1, 時と場合と相手に応じた適切な話し方をする。
- 2, 人によって言葉や話し方を変わらずに平等に接する。
- 3, どんな状況でも「言ってはいけない言葉」があることを心に留めておく。
- 4 相手の心（気持ち）を考えて話す。
5. その都度、自分の話し方について客観的に見つめなおす。
6. ネガティブな言葉を減らして、ポジティブなことばをどんどん使う。
7. 耳と心に美しい言葉をかけ合う

6年2組 1日にクラスの全員にあたたかい言葉をかける。(秦西6年「言葉づかいの7カ条」)

素晴らしいめあてばかりです。本当にみんなよく考えてくれています。意識して取り組みましょう。また、職員室前廊下には、1人ひとりの素晴らしい人権標語、作品が掲示され、この中から運営委員によって各学級から代表1点が紹介されました。



ともだちと なかよくなったよ あいさつで	1年1組	吉岡さや
みんなにひろがれ にこにこえがお	1年2組	中田こころ
いじめなし やさしさあふれる秦西小	2年1組	青木快晴
一人より みんなといっしょが たのしいよ	2年2組	植田結子
ごめんねと 言えるゆうきを もちたいな	3年1組	吉岡紅愛
できないことをバカにするより できることをほめあおう	3年2組	青山心咲
ありがとう その一言が プレゼント	4年1組	外村芽愛
人間の 命は一つ!! 大切に	4年2組	野々村柑菜
ありがとう 心の中の花が咲く	5年1組	福島芽衣
いじめなし やさしい言葉を かけあおう	5年2組	吉岡沙夏
忘れずに 言葉の重みと 思いやり	6年1組	三崎優楽
悪さより 笑った方が 楽しいぞ	6年2組	井上颯太

集会の中では、世界中には貧しくて働くために学校へ行けなかったり、病気になっても治療を受けることができなったり、色々な子どもたちがいることを映像で学びました。また、教頭先生からは、水の結晶の写真をつかって、日頃の言葉かけによって成果が変わることを示していただき、人に対する思いやりのある言葉、かける言葉が大事であることを教えてもらいました。言葉には無限のエネルギーがあります。よいエネルギーをもった美しい言葉や心があたたかくなるふわふわ言葉(右上写真)をつかいたいものです。

人権を考える町民のつどい(人権ミニフェスタ)において表彰を受けました!

「語ろうよ 友と家族と輪になって」

6年 栗田芽生